

# 第61回日本身体障害者福祉大会 きょうと大会に参加しました！！

平成28年5月12日(木)に開催された「第61回日本身体障害者福祉大会 きょうと大会」に参加しました。

大会には、全国から約2,700名の参加があり、滋賀県からは、139名の多くの方にご参加いただきました。当日は、早朝からバス4台と乗用車で、会場の「京都府総合見本市会館(京都パルスプラザ)」に向かい、バスの中では、それぞれの地域の話をするなど、地域間の情報交換の場となりました。

大会では、日本身体障害者団体連合会会長表彰受賞者の表彰式が行われ、54名の方が受賞されました。また、大会宣言と決議が次のとおり採択されました。

## ☆大会スローガン

「障害者差別解消法の理解啓発を図ろう」

「日身連および加盟団体の組織強化を図ろう」

## ☆大会宣言

「障害者差別解消法施行の年、ここ京都において、全国から参加した多くの仲間とともに、第61回日本身体障害者福祉大会を盛大に開催することができた。

日本身体障害者団体連合会は、創設以来、障害者の人権の保障と地域社会での自立、社会参加の促進を求め、加盟団体と連携し活動を続けてきた。その活動の成果として、本年4月、私たちが、長年、求めてきた障害者差別解消法が施行された。

障害者権利条約により、これまで施策の客体とされてきた障害者が、権利の主体であることが明示され、障害の考え方を医学モデルから社会モデルへと変え、障害を理由とした差別を禁止し、合理的配慮の提供を規定した障害者差別解消法の意義は大きい。同法を、さらに周知し、障害理解の啓発促進のため、私たちは、それぞれが意識をもち、法律を地域へ広げ大きく育てていくことに努めなければならない。

心を一つに、「私たち抜きに私たちのことを決めないで」と掲げ、障害者権利条約を採択した誓いをあらたに、私たちは、障害当事者団体の責務として、国や地方自治体における政策立案の検討に参画し、地域間格差なく、着実な法整備の具現化を求め活動していく。

今日、日本身体障害者団体連合会に集結する私たち障害者は、障害により分けへだてられることなく、お互いを尊重し、安心して暮らせる豊かな共生社会の実現をめざし、全国の会員ならびに加盟団体と強い連携のもと、一致団結し行動することを誓い、ここに宣言する。」

## ☆大会決議

- 一、共生社会をめざし障害者権利条約を障害者施策に実現させよう
- 一、すべての自治体に障害者差別をなくすための条例を制定させよう
- 一、東日本大震災被災地の復興を着実に実行させよう
- 一、地域相談支援体制に身体障害者相談員を活用させよう
- 一、熊本地震による被災障害者の早期生活再建をめざそう

# ♪ 大会の様子 ♪

